

(別記様式第 1 号)

計画作成年度	令和 4 年度
計画主体	岡山県里庄町

里庄町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 里庄町農林建設課
所在地 浅口郡里庄町里見 1107-2
電話番号 0865-64-7215
FAX番号 0865-64-3117
メールアドレス kensetu@town.satosho.lg.jp

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	ハシブトガラス、ハシボソガラス、カワラバト（ドバト）、キジバト、ヒヨドリ、イノシシ、ヌートリア、タヌキ、アナグマ、ハクビシン、アライグマ、ニホンジカ
計画期間	令和4年度～令和6年度
対象地域	岡山県浅口郡里庄町

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状（令和3年）

鳥獣の種類	被害の現状	
	品目	被害数値
ハシブトガラス ハシボソガラス	果樹 雑穀 野菜 水稲	- 千円 - ha ※被害対策相談あり
カワラバト（ドバト） キジバト ヒヨドリ	果樹 雑穀 野菜 水稲	- 千円 - ha ※被害対策相談あり
イノシシ	水稲 果樹（カキ、クリ） 野菜 雑穀（イモ類）	30 千円 0.32ha
ヌートリア	水稲 果樹 野菜（ハクサイ） 雑穀（トウモロコシ）	23 千円 0.30ha
タヌキ	果樹（モモ） 野菜 雑穀（トウモロコシ）	20 千円 0.06ha
アナグマ	果樹（モモ） 野菜 雑穀（トウモロコシ）	20 千円 0.06ha
ハクビシン	果樹 雑穀	- 千円 - ha ※被害対策相談あり
アライグマ	-	- 千円 - ha ※町内で目撃情報あり
ニホンジカ	-	- 千円 - ha ※隣接市内で目撃情報あり

(2) 被害の傾向

・ハシブトガラス、ハシボソガラス

生息状況：町内全域

被害作物：果樹・雑穀・野菜・水稻

傾向：町内において、ねぐらが複数あり、有害鳥獣駆除による捕獲を行っているが、被害地域が山間部を中心に市街地にも拡大しており、年間を通じて果樹、野菜の被害が発生している。

・カワラバト（ドバト）、キジバト、ヒヨドリ

生息状況：町内全域

被害作物：果樹・雑穀・野菜・水稻

傾向：町内において、ねぐらが複数あり、有害鳥獣駆除による捕獲を行っているが、被害地域が山間部を中心に市街地にも拡大しており、年間を通じて果樹、野菜の被害が発生している。

・イノシシ

生息状況：町内全域

被害作物：水稻・果樹・野菜・雑穀

傾向：有害鳥獣駆除による捕獲を行っているが、町南部及び北部の山裾に近い農地でサツマイモやカキなどへの被害が多く見られる。また、田畑の畦や水稻などへの被害も見られる。

・ヌートリア

生息状況：町内全域

被害作物：水稻・果樹・野菜・雑穀

傾向：有害鳥獣駆除による捕獲を行っているが、町内全域の特に河川、池、用水路等の水辺の近くで水稻への食害が多く見られる。また、ため池の堤防や、田畑の法面等への巣穴による崩落の被害も見られる。

・タヌキ

生息状況：町内全域

被害作物：果樹・野菜・雑穀

傾向：山裾に近い農地で果樹・野菜・雑穀等への被害が多く見られる。

・アナグマ

生息状況：町内全域

被害作物：果樹・野菜・雑穀

傾向：山裾に近い農地で果樹・野菜・雑穀等への被害が多く見られる。

・ハクビシン

生息状況：町内全域

被害作物：果樹・雑穀

傾向：県内で生息分布が拡大しており、町内でも果樹や空き家への被害が発生している。町内の複数か所で目撃情報が寄せられていることから、今後更なる被害が発生する可能性がある。

<ul style="list-style-type: none"> ・アライグマ 生息状況：町南西部地域 傾 向：県内で生息分布が拡大しており、町内でも目撃情報が寄せられていることから、今後被害が発生する可能性がある。 ・ニホンジカ 生息状況：町北部地域（虚空蔵山付近） 傾 向：県北東部を中心に県内で生息分布が拡大しており、県西部、隣接市内等でも目撃情報が寄せられていることから、今後被害が発生する可能性がある。
--

(3) 被害の軽減目標

指標	現状値（令和3年）	目標値（令和6年）
ハシブトガラス ハシボソガラス	- 千円 - ha	- 千円 - ha
カワラバト（ドバト） キジバト ヒヨドリ	- 千円 - ha	- 千円 - ha
イノシシ	30 千円 0.32ha	27 千円 0.288ha
ヌートリア	23 千円 0.30ha	20.7 千円 0.27ha
タヌキ	20 千円 0.06ha	18 千円 0.054ha
アナグマ	20 千円 0.06ha	18 千円 0.054ha
ハクビシン	- 千円 - ha	- 千円 - ha
アライグマ	- 千円 - ha	- 千円 - ha
ニホンジカ	- 千円 - ha	- 千円 - ha

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駆除活動 有害鳥獣駆除班により被害地区内において、集中的なわな及び銃器による駆除活動を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駆除活動 地域内狩猟者（捕獲従事者）の高齢化による捕獲従事者の減少が考えられるため、新規狩猟免許取得者（新規捕獲従事者）の確保が必要である。令和3年度に創設した町補助事業により推進を行う。 中小型獣類の駆除にあたっては、捕獲従事者が個人で所有するわな以外に、町で小型の捕獲檻を整備する等、駆除活動の拡大を図る。
防護柵の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防護施設設置 県及び町の補助事業による防 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防護施設設置 町の補助事業による防護柵設

等に関する取組	護柵設置の推進を検討。	置の推進を引き続き行う。被害地域内で対応に差があるため、地域全体での防護柵等の設置の推進が必要である。また、効果的な設置方法や、捕獲対策との組み合わせによる防護対策について、専門的な指導も必要である。
生息環境管理その他の取組	・被害防止技術等について町ホームページで周知	・町民への周知及び助言 町ホームページに加え、広報紙等でも被害防止対策に関する情報を周知する。また、鳥獣被害に対して、適切な被害防止対策を助言できるように、里庄町鳥獣被害対策実施隊員は、講習会等へ積極的に参加し、有害鳥獣被害対策に係る知識の習得及び技術の向上に努める。

(5) 今後の取組方針

<ul style="list-style-type: none"> ・従来の被害対策は実施隊及び有害鳥獣駆除班による捕獲任せとなっていたが、防護対策を中心に捕獲対策を組み合わせた対策を行い、被害の抑制に向けた取組を推進する。 ・農業者の意識改革による積極的な防護柵の設置や追い払い、農地の適正管理による耕作放棄地等の解消、緩衝地の整備など、捕獲だけに頼らない被害防止体制の確立を目指す。 ・捕獲従事者の減少に歯止めをかけるために、新規狩猟免許取得者（新規捕獲従事者）の確保に向けた広報活動等に努める。
--

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

<p>岡山県井笠地区猟友会浅口分会里庄会員により構成する有害鳥獣駆除班の班員に対し、里庄町長が有害鳥獣捕獲許可証を発行し、被害農家等からの申請により、鳥獣保護区や特定猟具使用禁止区域を除く里庄町内全域において、銃器及びわな等による有害鳥獣の駆除捕獲活動を実施する。</p> <p>また、岡山県井笠地区猟友会浅口分会里庄会員のうち、里庄町長から任命された会員により里庄町鳥獣被害対策実施隊（対象鳥獣捕獲員）を編成し、駆除班等と連携しながら住民等への鳥獣対策の普及啓発を行うとともに、捕獲活動等の被害防止活動を実施する。</p>
--

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
令和4年度	ハシブトガラス ハシボソガラス カワラバト（ドバト） キジバト ヒヨドリ イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	地域住民と里庄町鳥獣被害対策実施隊との連携を強め、一層迅速な被害防止対策がとれる体制づくり。 狩猟者の確保、育成のため、岡山県猟友会が行う狩猟初心者講習会への参加を推進。 駆除活動推進を目的とした捕獲補助。
令和5年度	ハシブトガラス ハシボソガラス カワラバト（ドバト） キジバト ヒヨドリ イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	地域住民と里庄町鳥獣被害対策実施隊との連携を強め、一層迅速な被害防止対策がとれる体制づくり。 狩猟者の確保、育成のため、岡山県猟友会が行う狩猟初心者講習会への参加を推進。 駆除活動推進を目的とした捕獲補助。
令和6年度	ハシブトガラス ハシボソガラス カワラバト（ドバト） キジバト ヒヨドリ イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	地域住民と里庄町鳥獣被害対策実施隊との連携を強め、一層迅速な被害防止対策がとれる体制づくり。 狩猟者の確保、育成のため、岡山県猟友会が行う狩猟初心者講習会への参加を推進。 駆除活動推進を目的とした捕獲補助。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方					
近年の捕獲実績 (頭・羽数)					
鳥獣種類	H29	H30	R1	R2	R3
カラス類	55	51	50	34	26
ハト類・ヒヨドリ	51	22	3	4	16
イノシシ	14	24	36	68	112
ヌートリア・タヌキ ・アナグマ	29	34	21	40	34

1. カラス類、ハト類、ヒヨドリ
捕獲数は減少傾向であるが、年間を通じて農作物への被害が発生している。そのため、引き続き捕獲に取り組むこととし、捕獲計画数をカラス類 70 羽、ハト類、ヒヨドリをそれぞれ 35 羽とした。

2. イノシシ
捕獲数は年々増加しており、今後も捕獲数は増加すると考えられる。農作物への被害や、田んぼの畦を壊すといった被害が多数発生している。そのため捕獲計画数を令和 4 年度 160 頭、令和 5 年度 190、令和 6 年度 220 頭とした。

3. ヌートリア・タヌキ・アナグマ
捕獲数は横ばい傾向である。農作物への被害は町内全域で発生しているため、引き続き捕獲に取り組むこととし、捕獲計画数をヌートリア 50 頭、タヌキ 30 頭、アナグマ 30 頭とした。

4. ハクビシン
被害は少ないものの空き家等に住み着くなど、農作物以外への被害も発生しているため捕獲に取り組むこととし、捕獲数は 5 頭とした。

5. アライグマ
被害の発生は確認されていないものの、目撃情報があることから、被害の発生や生息数が増加する前に捕獲する必要があるため、目撃情報があり次第、捕獲に取り組むこととし、捕獲数は 5 頭とした。

6. ニホンジカ
被害の発生は確認されていないものの、隣接市では目撃情報があることから、当町でも被害が発生する可能性がある。目撃情報があり次第、捕獲に取り組むこととし、捕獲数は 5 頭とした。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ハシブトガラス ハシボソガラス	70	70	70
カワラバト（ドバト） キジバト	35	35	35
ヒヨドリ	35	35	35
イノシシ	160	190	220
ヌートリア	50	50	50
タヌキ	30	30	30
アナグマ	30	30	30
ハクビシン	5	5	5
アライグマ	5	5	5
ニホンジカ	5	5	5

捕獲等の取組内容

里庄町内全域において、銃器及びわな等による捕獲を行う。被害が発生した場合には、被害農家、晴れの国岡山農業協同組合等からの申請により里庄町鳥獣被害対策実施隊員（対象鳥獣捕獲員）や有害鳥獣駆除班において被害状況等の現地確認を実施し、周辺環境に応じた対策を講じるとともに随時駆除活動を実施する。

駆除捕獲活動の推進にあたっては、実施隊及び有害鳥獣駆除班が相互に情報交換を行いながら、被害状況や対象鳥獣の種類に応じた捕獲機材の新規設置を推進し、銃器及びわな等による捕獲活動を推進する。

ライフル銃による捕獲等を実施する必要性及びその取組内容

該当なし

（４）許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
該当なし	該当なし

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	被害農地等への防護柵新規設置。 (目標(延長)) 電気柵・金網(ワイヤーメッシュ)・トタン 1,200m	被害農地等への防護柵新規設置。 (目標(延長)) 電気柵・金網(ワイヤーメッシュ)・トタン 1,200m	被害農地等への防護柵新規設置。 (目標(延長)) 電気柵・金網(ワイヤーメッシュ)・トタン 1,200m

(2) 侵入防護柵の管理等に関する取組

対象鳥獣	取組内容		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	防護柵の設置後は、柵の破損や不備がないか定期的に点検を行う。侵入された場合は放置せず、柵のかさ上げや補強、目隠しなど状況に応じて適切な対応策を講じる。	防護柵の設置後は、柵の破損や不備がないか定期的に点検を行う。侵入された場合は放置せず、柵のかさ上げや補強、目隠しなど状況に応じて適切な対応策を講じる。	防護柵の設置後は、柵の破損や不備がないか定期的に点検を行う。侵入された場合は放置せず、柵のかさ上げや補強、目隠しなど状況に応じて適切な対応策を講じる。

5. 生息環境管理その他被害防止施策に関する事項

年度	対象鳥獣	取組内容
令和4年度	ハシブトガラス ハシボソガラス カワラバト(ドバト) キジバト ヒヨドリ イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	町ホームページに加え、広報紙等でも被害防止対策に関する情報を周知する。また、鳥獣被害に対して、適切な被害防止対策を助言できるように、里庄町鳥獣被害対策実施隊員は、講習会等へ積極的に参加し、有害鳥獣被害対策に係る知識の習得及び技術の向上に努める。

令和5年度	ハシブトガラス ハシボソガラス カワラバト（ドバト） キジバト ヒヨドリ イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	町ホームページに加え、広報紙等でも被害防止対策に関する情報を周知する。また、鳥獣被害に対して、適切な被害防止対策を助言できるように、里庄町鳥獣被害対策実施隊員は、講習会等へ積極的に参加し、有害鳥獣被害対策に係る知識の習得及び技術の向上に努める。
令和6年度	ハシブトガラス ハシボソガラス カワラバト（ドバト） キジバト ヒヨドリ イノシシ ヌートリア タヌキ アナグマ ハクビシン アライグマ ニホンジカ	町ホームページに加え、広報紙等でも被害防止対策に関する情報を周知する。また、鳥獣被害に対して、適切な被害防止対策を助言できるように、里庄町鳥獣被害対策実施隊員は、講習会等へ積極的に参加し、有害鳥獣被害対策に係る知識の習得及び技術の向上に努める。

6. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称	役割
岡山県備中県民局 農林水産事業部	鳥獣の被害に関する情報提供並びに協議会への助言。
玉島警察署	町民の生命の安全確保に関すること。
里庄町農林建設課	鳥獣の被害に関する情報提供並びに協議会の事務、関係機関との連絡調整。
岡山県井笠地区猟友会 浅口分会里庄	鳥獣に関する情報提供並びに有害鳥獣捕獲の実施。

(2) 緊急時の連絡体制

里庄町農林建設課	→ ・岡山県備中県民局農林水産事業部
	農畜産物生産課 (086-434-7032)
	森林企画課 (086-434-7052)
	井笠地域森林課 (0865-69-1631)
	→ ・玉島警察署 (086-522-0110)
	→ ・岡山県井笠地区猟友会浅口分会里庄

7. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

・従来の駆除活動と同様に、土中埋設又は焼却処分を行う。

8. 捕獲等をした対象鳥獣の食品・ペットフード・皮革としての利用等その有効な利用に関する事項

(1) 捕獲等をした鳥獣の利用方法

食品	・自己の食用とする場合は、野生鳥獣食肉衛生管理ガイドラインを参考に解体処理するものとする。
ペットフード	該当なし
皮革	該当なし
その他 (油脂、骨製品、角製品、動物園等での体給餌、学術研究等)	該当なし

(2) 処理加工施設の実施体制

該当なし

(3) 捕獲等をした対象鳥獣の有効利用のための人材育成の実施体制

該当なし

9. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	里庄町鳥獣被害防止対策協議会
構成機関の名称	役割
里庄町	鳥獣の被害に関する情報提供並びに協議会の事務、関係機関との連絡調整。

岡山県井笠地区猟友会 浅口分会里庄	鳥獣に関する情報提供並びに有害鳥獣の捕獲。
晴れの国岡山農業協同 組合	鳥獣の被害に関する情報提供並びに営農指導。
里庄町農業委員会	鳥獣の被害に関する情報提供。
里庄町議会	鳥獣の被害に関する情報提供。

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
岡山県備中県民局 農林水産事業部	鳥獣に関する情報提供並びに捕獲等に関する技術指導 など、オブザーバーとして意見を求める。

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

<ul style="list-style-type: none"> 岡山県井笠地区猟友会浅口分会里庄に所属している者のうちから町長が任命した者で構成される。令和3年度は里庄町鳥獣被害対策実施隊に13名を任命。実施隊員は里庄町鳥獣被害防止計画に掲げる対象鳥獣の捕獲に努めるほか、駆除班等と連携しながら住民へ防護柵の普及啓発等を行い、地域と一体となった被害防止活動を推進する。
--

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

<ul style="list-style-type: none"> 晴れの国岡山農業協同組合又は住民からの被害報告を受け取った後、直ちに鳥獣被害対策実施隊に情報提供及び駆除依頼をして、適切な対応が実施できる体制整備に努める。
--

10. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

<ul style="list-style-type: none"> 農業者自身による自己防衛を図るための効果的な防護柵の設置の方法や追い払い方法の周知、捕獲を行うための狩猟講習会等への積極的な参加を勧めていく。
